



Little Players News

No. 182 2013年 5月

新 緑が美しく、桜の花の優しいピンクが相まって5月は輝かしい季節ですね。
今年の発表会は9月8日(日)を予定しています。

紹介コーナー



♪ 今月もフィンランドの偉大な作曲家シベリウス(1865~1957)の作品についてお話したいと思います。

交響曲 第2番 ニ長調 作品43

シベリウスの7曲の交響曲の中で最もポピュラーな第2番。1901年に完成し、初演は1902年の春、ヘルシンキでシベリウス自らの指揮で大成功を収めました。

私がこの曲と出会ったのは、札幌コンサートホール Kitara(キタラ)で今をときめく佐渡 裕(ゆたか)氏の指揮での演奏会でした。重厚で壮大な音楽。そして、北欧音楽独特の透明感が魅力的で美しかったです。とても感動して、聴いていると鳥肌が立ちました。以来、第2番はよく聴くナンバーとなり、特に車で旅行している時にフィナーレの第4楽章がかかると、北海道の広大な自然とマッチして、改めて素晴らしい曲だなと思います。

ヘルシンキの街について

フィンランドの首都ヘルシンキを訪れたのは厳寒の2月でしたから、ホテルから外へ出るには強い意思が必要でした。寒い時は氷点下30℃にもなるそうで、流石に頭が痛くなるそうです。凍った海の上を歩いた時が強烈に寒かったです。シベリウスが何度も訪れたというレストランではポロと呼ばれているトナカイのお肉料理が美味しかったです。街を歩くと、重厚な建築物が多く、扉も巨大で重たかったです。まるでガリバーの国を冒険しているようでした。建造物の中で一番印象に残っているのは、ロックチャーチ(石の教会)こと、テンペリアウキオ教会。外観からは教会だということが分からない不思議な建物が現れました。内部の壁は巨大な岩をくり抜いたままの姿で、天上は円盤形ドームになっていました。素晴らしい空間は居心地が良かったのを覚えています。

シベリウス公園

中央駅から北西に1.5kmにある公園は、フィンランドの英雄シベリウスの偉業を讃えるために造られました。ダイヤモンドダストがキラキラしている広い公園の中を歩くと、女流彫刻家によるステンレスのパイプのモニュメントが現れました。その美しさに圧倒されていると、そのすぐそばには、御影石の上にシベリウスの顔だけが鎮座していました。これはインパクトが大きかったです。音楽祭が開かれる白夜の季節に、また訪れたいです。

西川音楽教室

<http://soundwalking.com/>